

(表面の続き)

「永久の未完成これ完成である」

少し難しい文章なので、私自身、何回か読み直しました。みなさんはどう解釈するでしょうか？

私は、「物事に完成などない。それを理解し、完成を求めていくことが完成なのだ」と解釈しました。

2年1組として、納得の1年間が送れたと思います。勉強の意欲も以前より上がり、成績も向上したという子がたくさんいます。人間関係を学び、たくさんを経験し、過ごしやすい空間を創り出していました。

でも、これは、あくまで次へのステップであって、これが完成ではないのです。未完成です。この1年間の経験を、3年生になってから活かさなければなりません。そして、完成を目指すのです。「最高のクラス」を3年生になってから目指すのです。それもまた未完成で…。　　こういうことじゃないでしょうか。



この2年1組は、徐々に成長が見えた、良いクラスでした。子どもたちはとても素直で、思いやりがあって、和を乱すことはしませんでした。確実に、次へのステップを大きく踏み出せる、立派な「根」を張り、伸ばしました。

ぜひ、「2年1組を越えるクラス」を3年生で作ってもらいたい。担任じゃなくて、子どもたち1人1人の力で作ってもらいたいと思います。そして、義務教育を終える時、更なる高みを目指す、人としての土台を作ってもらいたいと思っています。

学校は勉強をするところです。いつまでも素直に学び、生涯成長し続ける人であってほしいと思います。

保護者の皆様。1年間ありがとうございました。安富も皆様と、お子様から多くを学び、成長させていただきました。落ちの多い担任でしたが、たくさんご協力いただきまして、1年間乗り切ることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。紙面で失礼させていただきますが、お礼も兼ねまして、「根を伸ばす」最終号とさせていただきます。ありがとうございました。

頑張った！



2の1